

重要な基本的注意

- インフルエンザウイルス感染の診断は、本製品による検査結果のみで行わず、他の検査結果及び臨床症状を考慮して総合的に判断すること。
- 咽頭ぬぐい液を検体とした場合、鼻腔ぬぐい液、鼻腔吸引液に比べ検出率が低い傾向にあるので、検体の採取法にご留意ください。
- 鼻汁鼻かみ液を検体とした場合、検体量が少ない場合や適切な検体採取が行われていない場合には、正しい検査結果が得られない可能性があるため、検体の量、採取方法にはじょうぶに注意すること。

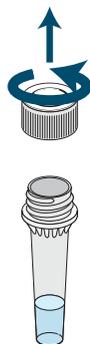
一般的な注意

- 本キットは体外診断用医薬品であり、それ以外の目的に使用しないこと。
- 電子添文以外の使用方法については保証できない。

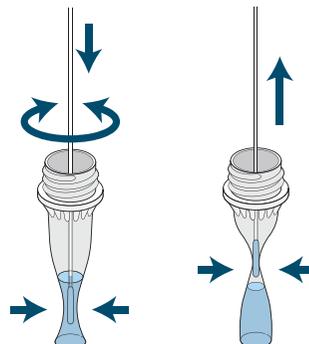
※本品を使用する前に、必ず電子添文をよくお読みください。

操作方法

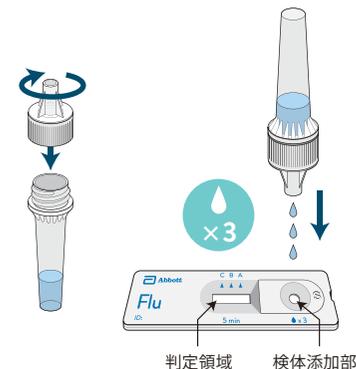
1 キャップを開ける
検体抽出容器を垂直に持ち、キャップを外します。



2 綿棒を入れ回転させる
内容液に検体採取後の綿球部分を浸し、検体抽出容器の外側から綿球を指で押さえながら、**5回以上**回転させます。検体抽出容器の外側から綿球を指で押さえながら引き上げ、検体を絞り出します。

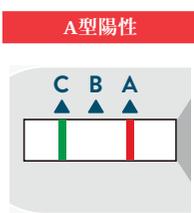


3 フィルター付ノズルを付け、3滴滴下する
検体抽出容器にフィルター付ノズルを取り付けます。試料液**3滴**をテストデバイスの検体添加部に滴下します。**5分後**に判定領域を観察し、各ラインの有無により判定します。

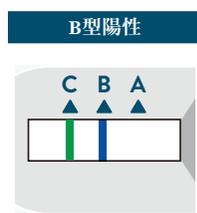


判定法

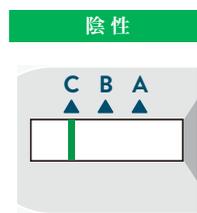
5分後に判定領域を観察し、ラインの有無によって判定してください。



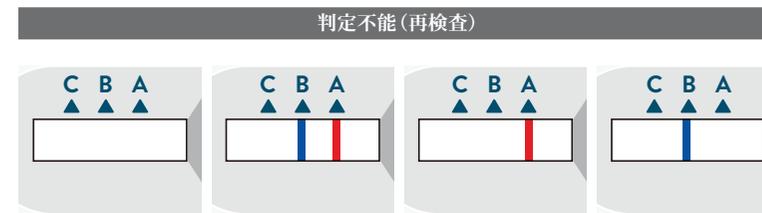
A型インフルエンザライン(A)に赤色、コントロールライン(C)に緑色のラインを認めた場合。



B型インフルエンザライン(B)に青色、コントロールライン(C)に緑色のラインを認めた場合。



コントロールライン(C)にのみ緑色のラインを認めた場合。



コントロールライン(C)に緑色のラインが認められなかった場合は、たとえばA型インフルエンザライン(A)に赤色、またはB型インフルエンザライン(B)に青色のラインが認められたとしても検査は無効です。別のテストデバイスを用いて再検査をしてください。

製造販売元

アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社
〒270-2214 千葉県松戸市松飛台357

(問い合わせ先)

TEL : 0120-1874-86 (受付時間 : 9:00~17:00 土、日、祝日を除く)

アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社 お客様相談室
〒163-0807 東京都新宿区西新宿2-4-1